

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フットヒルカレッジ
留学期間	2018年9月～2019年3月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	約 64 万円（秋学期と冬学期の合計。1 単位当たり 194 ドル。秋学期は 14 単位、冬学期は 16 単位分履修したので $14 \times 194 = 2716$ $16 \times 194 = 3104$ $2716 + 3104 = 5820$ ドル \div 64 万円）
保険料	約 15 万円（日本の保険料 35505 円と、留学先大学の保険料約 117,000 円の合計）
宿舍費（1 か月あたり）	約 130,000 円（ホームステイ。1 か月あたり 1,200 ドル）
食費（1 か月あたり）	ミールプラン
渡航旅費	163,670 円

滞在形態関連

1) 種類	ホームステイ。
2) 部屋の形態	個室。
3) 設備	

シャワー, お風呂(浴槽), トイレ, キッチン, ランドリー, インターネット環境。
4) 住居を探した方法
留学先大学のホームページ。

現地情報
1) 大学内の医務室/診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか?
はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか?
いいえ。
3) 保険について, 現地の医療保険に加入しましたか?
はい。
4) 留学にあたり, 必須の予防接種はありましたか?
はい。MMR(風疹, 麻疹, おたふくの予防接種)と, ツベルクリン検査。
5) 学内外で問題が発生したときは, 誰に相談しましたか?
留学先の友人, 日本にいる友人や家族, 大学の留学担当窓口, ホストファミリーやRA(レジデンスアシスタント)。
6) 現地の治安はどうでしたか?また, 現地の危険地域情報をどのように収集し, どのような防犯対策をしましたか?また, 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合, どのように対処しましたか?
フットヒルカレッジのある地域やその周辺は, 非常に治安がいいと思います。しかし, 公共のバスには少し変わった人も乗ってくるので, 気を付けるようにしていました。
7) パソコン, 携帯電話, インターネット接続について, 現地での利用はいかがでしたか?
私の部屋はなぜかWi-fiのつながりが悪かったので, 家で勉強するときはほとんどリビングで勉強していました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか?
現地で銀行口座を開設して親に日本から送金してもらっていました。銀行開設の際, ホストファザーと一緒に来てくれたので, 手続きは大変ではありませんでした。クレジットカードも使用していました。
9) 利便性, 買い物はどうでしたか?また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか?
近くにスーパーがあったので, 特に困ることはありませんでした。また, 少し遠いですが, ジャパニーズマーケットもあるので日本の製品も購入することができます。しかし, 女子の場合は, スキンケア製品は日本から多めに持ってきた方がいいと思います。アメリカ製のスキンケア製品は日本人の肌には合わないと言われていて, アメリカで日本のスキンケア製品を買おうとすると, 日本で買うよりも非常に値段が高くなってしまいますので, 日本から持ってくることをおすすめします。
10) 授業料(またはプログラム費用)は, どのように支払いましたか?
クレジットカードと, 現地で作ったデビットカードで支払いました。
11) その他, 生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
9月~10月頃でも, 朝と夜は非常に寒くて, 昼はとっても暑くなるという気候なので, 防寒着や日焼け止めをちゃんと持ってくることをおすすめします。

渡航について	
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？	ホームステイを申し込んだ ISP という会社のピックアップサービス
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？	
	はい。3日間。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
履修した授業科目名	History of the United States from 1914 to present
授業内容や試験、授業を受けた感想について	教授が毎回レジュメを生徒に配り、パワーポイントを使って授業をしていました。重要単語のテストが3回ありました。中間テストと期末テストは、ある事柄について数ページにわたって説明するという記述式のテストでした。これらのほかに、レポートを一つ提出しなければなりません。アメリカの文化や政治を学べたし、当時のジャパニーズアメリカンについても学べたので取ってよかったと思っています。また、この授業で学んだことが、他の授業の内容を理解するのに非常に役立ったので、その点でも履修して良かったと思っています。ただし、レポートは大変でした。

履修した授業科目名	Music of multicultural America
授業内容や試験、授業を受けた感想について	教科書が e-book で、毎週2章分の課題に取り組みなければなりません。具体的には、最初に教科書を読んでそのあとにそれについて自分の考えを書いたり、クイズを受けたりします。この教科書を授業中に使うことはありません。授業中は、近くの人とよくディスカッションをしました。また、授業終わりには毎回、その日の授業で習ったことを要約しなければなりません。中間テストはなく、期末テストも受けた人だけ受けるという制度でした。明治大学では音楽の授業は履修できないので、取ってみようと思いました。私はもともと音楽に興味があったので、とても面白い授業だと思いました。アメリカや他の国の歴史も学べたので取ってよかったと思っています。教授が非常にいい人だったので、冬学期もこの教授の授業を履修しました。

履修した授業科目名	Interpersonal communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について	

毎週日曜日のオンラインのテストの他に大きな論述のテストが二回ありました。また、大きな論述の課題が二回ありました。授業はあまりおもしろくありませんでした。しかし、教科書に載っていることには非常に興味があったので、大学を卒業したら、コミュニケーション学を学べる大学院に進学したいと思うようになりました。教授は非常にいい人で、英語も聞き取りやすかったです。

履修した授業科目名

Intermediate class piano

授業内容や試験、授業を受けた感想について

教授が、私がこの授業をちゃんと登録できていないことに気が付いたのが final exam の一週間前だったので、単位はもらえませんでした。授業は最後まで受けたので、一応感想を書いておきます。最後の授業が発表会で、そのときの評価が final exam の評価となります。中間テストでは、発表会で弾く曲がどのくらい仕上がっているかで点数がつけられます。週に一回授業があり、その時に教授が一人当たり 10 分くらいずつ指導してくれます。生徒は自分の番がくるまで、ヘッドフォンをつけてクラス内にある電子ピアノで練習しているか、ピアノ練習室に行って練習していました。この授業を履修している生徒は授業の時以外も自由にピアノ練習室を使うことができました。この授業は、beginner の生徒と、advanced の生徒と一緒に受けるのですが、ほとんどの生徒が beginner クラスの人でした。技術的なことはあまり学べませんでした。

履修した授業科目名

Great composers & Music masterpieces of Western civilization

授業内容や試験、授業を受けた感想について

クラシック音楽について学びました。教授が Music of multicultural America の教授と同じ人だったので、授業のスタイルや課題などは、Music of multicultural America とほぼ同じでした。e-book の教科書を購入し、毎週 1~2 章分の課題に取り組まなければなりません。授業内でディスカッションをすることは、Music of multicultural America よりも多かったです。教授が毎回授業内容にかかわる質問を 3, 4 つするので、近くに座っている人とその質問について話し合い、自分たちの考えを紙に書いて提出しなければなりません。試験についても Music of multicultural America と同じで、中間テストはなく、期末テストも受けた人だけ受けるという制度でした。音楽に興味がないと、少し退屈な授業かもしれませんが、ディスカッションをたくさんするから、英語のスピーキング力が上がったと思うし、音楽に関わる語彙もいろいろ覚えられたのでよかったと思います。

履修した授業科目名

General Astronomy: Solar system

授業内容や試験、授業を受けた感想について

教科書は無料の e-book で、毎週決められたページを読んでこななければなりません。そして、毎回の授業の一番最初に教科書の内容にかかわる問題が出されました。他には、毎週 1 回オンラインの課題がありました。試験は中間テストと期末テストがあり、試験の前半は個人で問題を解き、後半はグループで違う問題を解きました。授業に関しては、まず教授がその日習うことをパワーポイントなどを使って説明し、次にグループを作って、ワークブックの問題に取り組み、そのあと教授が問題の解説をするというような感じでした。授業の終わりには、教授が選んだワークブックの中の問題一つに答えて提出しなければなりません。私はずっと天文学に興味があったのですが、国際日本学部ではもちろん、明治大学の他の学部でも天文学を学ぶことはできないので、思いきって履修してみました。難しい計算などはほとんどでなくて、天文学を学んだことがない人でも履修できる授業でした。ただし、難しい単語はたくさん出てくるし、教授の話をよく聞いていないと授業の内容がよくわからなくなると思いました。

履修した授業科目名

Great composers & Music masterpieces of Western civilization Public Speaking

授業内容や試験、授業を受けた感想について

名前の通り、人前でスピーチするのを上達させる授業です。Informative speech や、Persuasive speech, Impromptu speech など様々な種類のスピーチを行いました。中間テストや期末テストはありませんが、一番最後のスピーチは Monologue で、これはスピーチをするとき紙を見てはいけないので、話すことをすべて覚えなければなりません。毎週 Journal という課題があって、自分の今までのスピーチの良かったところや悪かったところをまとめたり、ある人のスピーチの動画を見て、その人のスピーチのどういうところが良いのかをまとめたりしなければなりません。最初の頃は、Journal も大変だし、スピーチを考えるのもとっても大変で、しかも全然上手にスピーチできないから、けっこうつらかったですが、だんだんと授業に慣れていき、スピーチをしているときは教授も他の生徒も真剣に聞いてくれるので、もちろん緊張するし不安はありましたが、スピーチをするのが楽しくなっていました。私の友人も他の先生の Public speaking をとっていたのですが、授業のスタイルや内容がだいぶ違いました。私は、この教授の Public speaking をとってよかったと思っています。

履修した授業科目名

Advanced table tennis

授業内容や試験、授業を受けた感想について

Beginnig と Intermediate の人たちと一緒にやりました。教授が特に何も指示をしないので、好きなように卓球をしてよかったです。初心者が多かったので、とっても楽しかったわけではありませんが、いろいろな人と関わることができて良かったと思います。

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>まず留学しようと思った理由ですが、主に二つあります。一つ目は、英語のスピーキング力を上げたかったからです。私は、ライティングとリーディングに関してはわりと自信を持っていたのですが、スピーキングは本当に苦手で、英語のスピーキングの授業中もほとんどしゃべっていませんでした。将来英語を使った職業に就くことも考えていたので、英語が話せないのは不利だと思い、自分のスピーキング力を向上させたいと思ったから、というのが一つ目の理由です。二つ目は、日本の文化を海外に知らせたかったからです。私は、日本の文化が好きで、書道を8年間習っていたし、大学生になってからは能のサークルに入りました。これら日本文化のすばらしさを、海外の人たちに伝えたいと思ったから、というのが二つ目の理由です。次に留学先としてフットヒルカレッジを選んだ理由ですが、主に5つあります。一つ目は、コミュニティカレッジなので、4年制大学よりも授業料が安いということです。二つ目は、フットヒルカレッジは4年生大学への転入成功率が高く、アメリカの2年制大学の中でもずっと1位、2位と認められてきたので、良い教育を受けられるし、生徒も真面目な人が多いだろうと思ったからです。三つ目は、大学がある地域やその周辺が非常に治安が良いからです。四つ目は、フットヒルカレッジではコミュニケーション学が充実しているからです。私はコミュニケーション学に興味がありましたが、国際日本学部ではあまり学べない分野なので、このカレッジでコミュニケーション学の授業を取ろうとずっと決めていました。そして五つ目は、フットヒルカレッジは、他のコミュニティカレッジと比べて日本人の学生があまり多くないため、他の国の学生と関わる機会が他のコミュニティカレッジよりも多いと思ったからです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>国際日本学部の英語の授業を通して学んだことは、留学中とても役に立ったと思います。英語の授業は全て英語で行われるので、最初の授業の時もそれほど緊張しなかったし、Writingの授業ではレポートの書き方を学んだので、レポートを書く時もそんなに困ることはありませんでした。私は、2年生になってから、課題にあまり真面目に取り組まない時があったので、もっとしっかり課題に取り組んで、もう少し自分の英語力を上げてから留学するべきだったと思います。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前・留学中ともに役に立ったウェブサイトは、国際日本学部の留学報告書です。先輩方が履修した授業の感想などが書かれているので、授業を登録する際に非常に参考になりました。アメリカに着いたら、UberとLiftのアプリはインストールした方がいいと思います。留学中は、交通手段がほぼバスしかありませんでしたが、バスで目的地に行こうとすると車で行くよりも非常に時間がかかってしまうことがほとんどだったので、たまにUberやLiftで目的地まで行きました。特に旅行中は、よくUberとLiftを使いました。また、日本では連絡を取り合うのにほとんどの人がLINEを使っていますが、他の国ではLINEはあまり使われていないので、他のSNSをインストールする必要性がありました。具体的に言うと、MessengerやWhatsAppなどです。</p>

<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>校舎が山の中にあるので、自然に囲まれていて静かなところです。時々水曜日に free food が配られたり、ハロウィンやバレンタインデーなどの特別な日には、ちょっとしたイベントが開かれたり、カレッジ内で楽しむことが多いなと思いました。学生に関しては、勉強ができるかどうかということは別にして、真面目な人が多いと思います。授業中に、手を挙げて、自分の意見を述べたり、先生に質問したりする人がたくさんいます。日本の学生のように、授業中に寝ていたり、スマートフォンを見ていたりする人はほとんどいません。しかし、一部の生徒は授業に遅れてきたり、授業中も先生の話をおろそかに聞いていませんでした。また、生徒間で学力の差が大きいとも感じました。学生に関して、もう一つ強く感じたことは、一人で行動している人が多いということです。授業を一人で聞いている人が結構いたし、お昼ご飯を一人で食べている人もよく見かけました。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>ホストファミリーはとてもいい方たちでした。旅行に行くときは空港まで送ってくれたし、休日にスキーやジップラインなどに連れていってもくれました。また、家が学校に近かったのもよかったです。他のホームステイ先だとご飯に関していろいろ決まりがある場合が多いのですが、私の滞在先では、家にあるものなんでも好きな時に食べていいというルールだったので、大変ありがたかったです。キッチンを自由に使わせてくれたのも嬉しかったです。しかし、ご飯を週に3、4回しか作ってくれなかったため、作ってくれない日は残り物を食べるか、自分で作らないといけなかったため、たまに面倒だなと感じました。私の滞在先には他の留学生もいて、彼女たちと仲良くなれて本当によかったと思います。英語でのコミュニケーション力が上がったと思うし、彼女たちの国の文化も知れました。また、私よりも英語ができたので、課題でわからないことがあると質問することもできました。しかし、彼女たちの生活に自分の生活を合わせないといけなかったため、少しストレスを感じることもありました。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>秋学期が始まる前に、留学生同士が仲良くなるように用意されたプログラムがあって、そのいくつかに参加したので、授業が始まる前に友達ができよかったです。また、私は自分から声をかけることがなかなかできなかったのですが、明治大学から一緒にフットヒルカレッジに行った子が、友達を作るのが非常に上手だったので、彼女が仲良くなった子を私に紹介してくれて、私もその子たちと友達になることができました。そのような友達とはよくご飯を食べに行ったりしました。同じホームステイ先の留学生とは一緒に旅行に行くくらい仲良くなれて良かったです。私は日本語の授業のお手伝いをたまにしていたのですが、日本語の授業を通して仲良くなった子もいます。フットヒルカレッジには日本人の生徒も結構いますが、日本人の生徒と仲良くなると日本語しか話さなくなると思ったので、日本人の生徒とはあまり関わっていませんでした。</p>

<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>正直困ったことやつらかったことなどはそんなにありませんでしたが、しいて言うならば、交通手段がほぼバスしかなかったことです。上でも述べたように、バスで目的地に行こうとすると車で行く場合よりも非常に時間がかかるし、乗り換えもしないといけない場合が多かったので、なかなか遠くの方へ遊びに行こうという気持ちにはなりませんでした。また、そのバスが時刻表通りに来ることはほぼなく、たいていの場合は約5分くらい遅れてきていました。10分以上遅れてくることもあったので、雨が降っている日などは待っているのが大変でした。私がよく利用していたバスは、平日は約30分に1本、休日は約1時間に1本しか来ないのにもかかわらず、時々時刻表よりも早く来てしまうことがあり、時刻表に書いてある時間に間に合うようにバス停についても、次のバスまで待たないといけないということもありました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>課題の量・難しさは授業によって違いますが、どの授業も毎週課題があり、これも、数週間に一回、もしくは学期の終わりにしか課題を出さない日本の大学との違いだと思いました。私は、平日に課題を済ませるようにしていたのですが、課題の量が多かったので、平日はほとんど課題をやって終わり、というような生活でした。私が履修していた授業の多くはたまたま、試験が強制ではなかったり、試験よりも普段の課題の方が大変だったりしたので、試験はそれほど大変ではありませんでした（しかし、歴史の授業のテストは、非常に長い論述のテストだったので、これは大変でした）。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>平日に課題をやり、週末に遊ぶという生活スタイルをとっていたので、自由時間はほとんど週末しかありませんでした。アメリカに来たばかりの頃は、近くに何かあるのかよくわからなかったし、友達もほとんどいなかったので時間を持て余していました。学校が始まると徐々に友達ができいったので、一緒にごはんを食べに行ったり、買い物に行ったり、パーティーをしたりと生活が充実していきました。また、上でも述べたように、ホストファミリーがとてもアクティブな方たちだったので、休日どこかへ連れて行ってくださることもありました。冬休みや連休には、同じホームステイ先の子や、こっちでできた友達と、ラスベガスやロサンゼルスなどに旅行に行きました。日本人以外の友達と旅行に行くという貴重な経験ができて大変よかったですと思います。また、私は時々日本語の授業のお手伝いもしていました。日本語を教えるのはとても楽しかったし、この授業を通してとても仲良くなった子もいるので、授業が午後から始まる日も朝早く起きて日本語の授業に行った甲斐があったと思います。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>まずアドバイスとして、1, 2年生の時は、国際日本学部の英語の授業を真面目に受けるべきだと思います。上でも述べましたが、これらの授業を通して学んだことは、留学中絶対に役に立ちます。私はアメリカに来て、日本で学んだアメリカのこと（例えば、“人種のるつぼ”や、アメリカ人は陽気な人が多い、ということ）が本当なんだと実感できて、視野がとても広がったと思います。留学先のカレッジには、いろいろな国からの留学生もいたので、彼らとの交流を通して、様々な文化の価値観も学べました。また、課題は大変でしたが、自分の身になると信じて最後まで取り組むことができました。このような経験ひとつひとつが大きな自信に</p>

	<p>なると私は思います。留学は楽しいことばかりではないけれど、少しでも留学に興味があるなら、私は挑戦してみるべきだと思います。</p>
--	--

